

みずほCustomer Desk Report 2023/07/31号 (As of 2023/07/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	139.49
TKY 9:00AM	138.88	1.0980	152.40	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	141.20	1.1047	155.60	1.2793	0.6711
SYD-NY Low	138.05	1.0944	151.47	1.2888	0.6713
NY 5:00 PM	141.18	1.1015	155.55	1.2767	0.6623
	1.2849	0.6648			
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	35,459.29	176.57	日本2年債	▲0.0100%	0.0300%
NASDAQ	14,316.66	266.55	日本10年債	0.5400%	0.1000%
S&P	4,582.23	44.82	米国2年債	4.8838%	▲0.0405%
日経平均	32,759.23	▲131.93	米国5年債	4.1818%	▲0.0526%
TOPIX	2,290.61	▲4.53	米国10年債	3.9556%	▲0.0456%
ソコ日経先物	33,130.00	570.00	独10年債	2.4550%	0.0225%
ロンドンFT	7,694.27	1.51	英10年債	4.3225%	0.0180%
DAX	16,469.75	63.72	豪10年債	4.0990%	0.1500%
ハンセン指数	19,916.56	277.45	USDJPY 1M Vol	9.75%	▲2.49%
上海総合	3,275.93	59.25	USDJPY 3M Vol	9.45%	▲1.20%
NY金	1,960.40	14.70	USDJPY 6M Vol	9.27%	▲0.65%
WTI	80.58	0.49	USDJPY 1M 25RR	▲0.90%	Yen Call Over
CRB指数	280.48	0.31	EURJPY 3M Vol	9.43%	▲1.21%
ドルインデックス	101.62	▲0.15	EURJPY 6M Vol	9.44%	▲0.63%

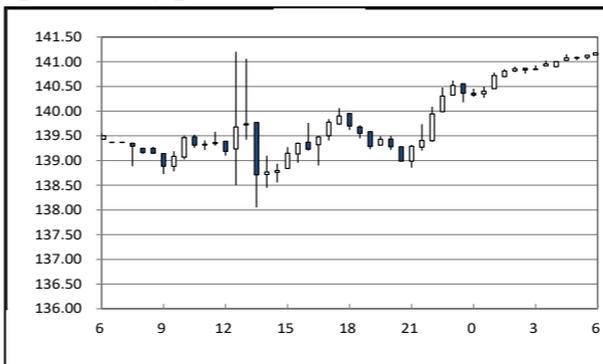
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月28日	08:30	日 東京CPI	7月 3.2%	2.9%
	08:30	日 東京コアCPI	7月 3.0%	2.9%
	08:30	日 東京コアコアCPI	7月 4.0%	3.7%
	12:30	日 日銀金融政策決定会合	-	長短金利操作、運用の柔軟化を決定
	17:00	独 GDP(前期比)・速報	2Q 0.0%	0.1%
	18:00	欧 消費者信頼感・確報	7月 -15.1	-
	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	7月 -9.4	-8.0
	18:00	欧 サービス業信頼感指数	7月 5.7	5.4
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)	6月 0.3%/6.2%	0.3%/6.2%
	21:30	米 PCEデフレ率(前月比/前年比)	6月 0.2%/4.1%	0.2%/4.2%
	21:30	米 雇用コスト指数	2Q 1.0%	1.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	7月 71.6	72.6

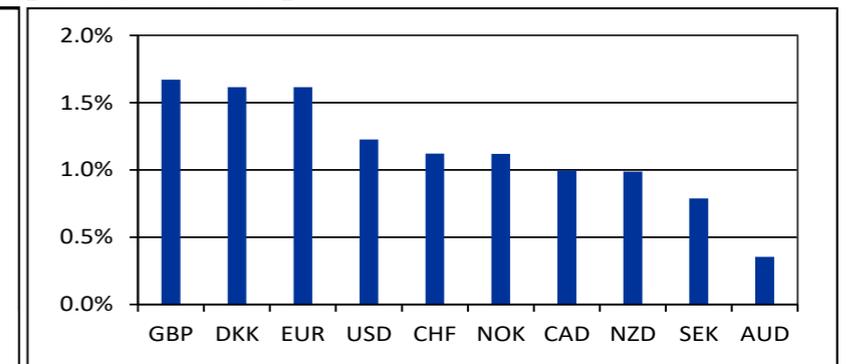
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月31日	10:30	中 製造業PMI	7月 49.0	49.0
	10:30	中 非製造業PMI	7月 53.0	53.2
	15:00	独 小売売上高(前月比)	6月 -0.3%	1.6%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)	2Q A 0.2%/0.5%	0.0%/1.1%
	18:00	欧 CPI速報値(前月比/前年比)	7月 -0.1%/5.3%	0.3%/5.5%
	18:00	欧 コアCPI・速報	7月 5.4%	5.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	140.00-141.80	1.0950-1.1150	154.00-156.50

【マーケットインプレッション】

先週末日銀は金融政策決定会合で、長短金利操作(YCC)の運用を柔軟化することを決定。これまで10年金利の変動幅の上限を0.5%で厳格に抑制してきたが、今後は連続指し値オペの利回りを1%へ引き上げて機動的に対応するとした。発表直後、為替相場は乱高下し、ドル円は141.20に急伸後、18日以来の安値となる138.05まで急落。その後も、円金利が上昇する展開にドル円は上下するも、植田総裁の会見において日銀が粘り強く金融緩和を継続するスタンスが確認されると、ドル円は海外時間に141円台まで上昇した。今回の日銀の決定は正常化に向けた一歩ではないと見ている。一方、米国は強い経済指標、株高が続いておりドルが選好される展開が継続すると予想する。本日の円金利動向に引き続き注目したいが、日米金利差が大きく縮むとは考えにくく、円安トレンドが継続するだろう。さらに、本日は月末日に当たるため仲値にむけてドル買いのフローも入りやすい。

東京	東京時間のドル円は138.88レベルでオープン。すぐに139円台へ浮上し、仲値にかけては139円台半ばまで水準を切り上げる。12時半ごろ公表された日銀会合は当初は「据え置き」とのヘッドラインに当日高値となる141.20まで吹き上がるが、続いて「10年利回り柔軟化」とのヘッドラインが出ると138.50まで急落。その後一旦落ち着きを見せたが、13時半前には当日安値となる138.05まで下押し、139.35レベルで欧州市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、139.35レベルでオープン。日銀の政策決定を受けた円高基調の中で、植田総裁のコメントも伝わるとボラティリティが高まる。138.86-140.06で振幅したが、結局ほぼ変わらずの139.27レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は139円台半ばでスタート。注目の日銀金融政策決定会合では、10年国債の指し値オペ利回りを0.5%から1.0%へ引き上げ、イールドカーブコントロール(YCC)の運用を柔軟化する政策が発表される。この発表を受け、売り買いが交錯し、一時141.20まで上昇するも、その後は138.05まで急落する等激しい値動きとなる。欧州時間にかけては138円台半ばから140円台丁度付近まで反発するも、その後失速し、139.27レベルでNYオープン。朝方に発表された米第2四半期雇用コスト指数や米6月PCEコアデフレ率(前年比)は予想を下回り、発表直後は売りで反応するも、米金利上昇がサポートとなり、下げ幅は限定的。その後じり高で推移し、140.70付近まで値を上げる。午後米円売りが優勢の中、底堅い推移が続き、141.18まで上げ幅を拡大し、そのままクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。オープン序盤はじり安で推移し、1.0950付近まで下落する。その後発表されたフランス第2四半期GDPが予想を上回ると、1.0990近辺まで値を戻す。しかし、続いて発表されたフランス6月CPI等が予想を下回る内を受け、再び1.09台半ばまで反落する。その後欧州株式市場の堅調な展開を受け反発し、1.1009レベルでNYオープン。午前は海外時間の流れを引き継ぎ、1.1047まで続伸する。午後は一連の中銀イベントをこなし、積極的な取引が手控える中、小幅反落し、1.1015レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・逸見